

公共事業等施行状況調（令和5年11月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		(1 1 月 末)				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	29,057	24,119	15,377	17,079	11,831	76.9	14,182	83.0	
2	農林・水産	32,009	33,315	24,459	25,680	20,327	83.1	21,533	83.9	
3	道 路	63,481	59,950	33,383	39,347	25,946	77.7	29,355	74.6	
4	港湾・空港	9,330	8,149	4,455	3,980	2,692	60.4	2,650	66.6	
5	下水道・公園	10,767	9,396	2,493	2,329	1,852	74.3	994	42.7	
6	住 宅	1,871	1,489	1,404	1,052	1,150	81.9	900	85.6	
7	庁 舎	3,088	2,467	2,788	2,315	1,902	68.2	1,891	81.7	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,586	4,047	3,957	2,780	2,434	61.5	1,807	65.0	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	83	243	70.6	78	94.0	
12	災害復旧	8,584	808	4,814	663	4,814	100.0	381	57.5	0.003
13	その他	6,469	7,424	4,259	4,258	3,154	74.1	2,928	68.8	
	計	172,494	152,115	97,733	99,566	76,346	78.1	76,701	77.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年11月末）

（単位：社、件、百万円、％）

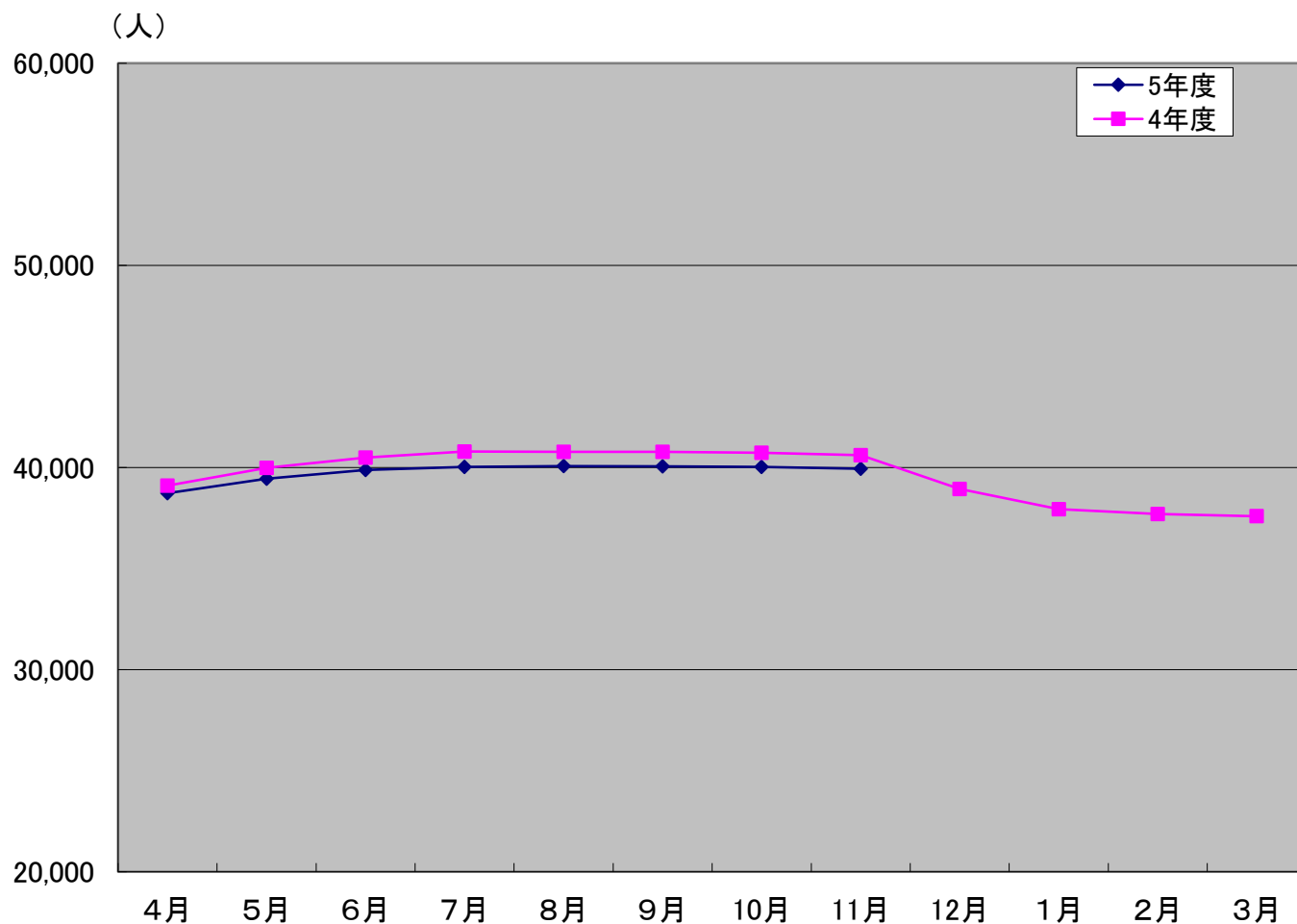
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
5年度	172,494	97,733	21,940	2,099	76,346	21,465	2,000	68,003	412	78	3,509	63	21	4,834
					78.1	97.8	95.3	89.1	1.9	3.7	4.6	0.3	1.0	6.3
前年度比	113.4	98.2	98.6	96.3	99.5	98.8	95.9	97.9	85.7	96.3	85.9	150.0	150.0	153.7
4年度	152,115	99,566	22,244	2,180	76,701	21,721	2,085	69,472	481	81	4,085	42	14	3,144
					77.0	97.6	95.6	90.6	2.2	3.7	5.3	0.2	0.7	4.1

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月	40,068	40,778
9月	40,056	40,773
10月	40,031	40,728
11月	39,936	40,608
12月		38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	40,031
資格取得者数	424
資格喪失者数	519
転入者数	1
転出者数	1
今月末被保険者数	39,936

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)11月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年12月)

	需給動向												価格動向												備 考
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前			八戸			県平均			
	緩	均	逼	緩	均	逼	緩	均	逼	緩	均	逼	上	安	下	上	安	下	上	安	下	上	安	下	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。10月の青森県内の販売量は3万1千トン(協会調べ)で前年同月比18.7%減。需要低迷による出荷減が長期に渡っており、昨年に引き続き、2023年も前年割れとの見方が強い。一方、メーカー各社は、2024年以降も現行販売価格を維持する姿勢であり、悪化した事業採算の改善と、カーボンニュートラルに向けた設備投資に注力する構え。石炭相場も落ち着き、新たな値上げの動きは見られないため、先行き、横ばい推移の公算大。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		農業土木向け、民間工事向けの需要が好調であり、昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示し、安定調達を優先する姿勢。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の11月の出荷量は5万9千m3(生コン工組調べ)で前年同月比2.9%の減少。小規模工事向けが中心で県内全体の生コンの商状は盛り上がり欠いている。メーカー各社は、今後上昇傾向とされる骨材等の原材料価格や輸送コストを販売価格に転嫁するため、強気の姿勢で交渉を継続している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○		生コン用、道路用とも大型物件は少なく、出荷は低調に推移している。販売量は伸び悩む状況が続いているが、一部メーカーは運転手確保に向けた輸送コストの増加や電力料金の高騰、出荷量減少に伴う固定費率の上昇を理由に、次年度さらなる値上げを予定している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも値上げ受け入れには慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295・D16でトン当たり113,000円と前月比変わらず。需要回復の動きは見られず、依然として精彩を欠く商状が続いている。メーカー各社は先月価格の底上げ交渉を行ったが、需要家による値下げ要求の姿勢は変わっていない。数量確保により、流通筋の安値売りが散見されている。底値感の台頭には時間を要するとの見方が強く、目先、弱基調の公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		11月の県内出荷量は7万3千トン(合材協会調べ)で前年同期比7.8%の減少。舗装工事発注の減少が続き、商状は盛り上がり欠いている。主な原材料であるスチール価格が足元で下落に転じるなか、メーカー各社は未達分の値上げの浸透を目指して交渉を継続している。一方、需要家は工事量減少による採算悪化を回避すべく値下げ要求を続けており、価格交渉は平行線を辿っている。需要環境好転は期待薄で、交渉進展には時間を要するとの見方が強い。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。10月の県内新設住宅着工戸数は314戸で前年同月比30.8%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比27.5%の減少、貸家が同40.8%の減少などとなっている。生活必需品の高騰や住宅建設費の上昇を背景に全国的に新設住宅着工の低迷が続き、実需は低調に推移。8月下旬に発生した北関東エリアの製材大手業者拠点工場火災の影響が徐々に表面化、関東・東北全域で米松材の需給がタイト化している。主要な流通業者では欧州材や国産材に対する代替の動きを活発化させており、事態を乗り切る構え。目先、強含みの見込み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡りでリットル当たり124円、重油はローリー渡りでリットル当たり85円とともに前月比横ばい。世界的に需要の盛り上がり欠き、原油相場は下落。円高傾向もあり原油調達コストは低下したものの、補助金支給額が減少したため元売りの実質仕切価格は上伸した。これを受けた流通筋は採算重視の姿勢で価格に転嫁したい意向だが、販売数量の確保を優先した安値も一部で見られる。今後も補助金により大幅な変動は避けられ、目先、横ばいの見通し。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。10月の輸入合板入荷量は17万4千m3で前年同月比11.6%の減少(財務省調べ)。入荷量は低水準だが新規の引き合いも低調で、市中に不足感はない。流通業者は仕入れコストの増加分を販売価格に上乗せしたい意向だが、大口需要家との交渉は進んでいない。需給の緩和が続くなか、輸入商社は注文量の絞り込みに動いている。市場では需要の早期回復とは難しいとの見方が大勢で、目先、横ばいの見込み。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり125,000円と前月比横ばい。市中の荷動きへの影響が大きい中小建築需要は依然として精彩を欠く。冬季要因を含めて需給にタイト感は見られない。流通は採算割れを回避するため現行価格の維持に努めているが、需要家の購入姿勢は慎重で、当用買いに徹している。さえない商況に変化は見られず、買い手側優位の状況が続くとの見方が大勢。目先、弱含みの公算大。

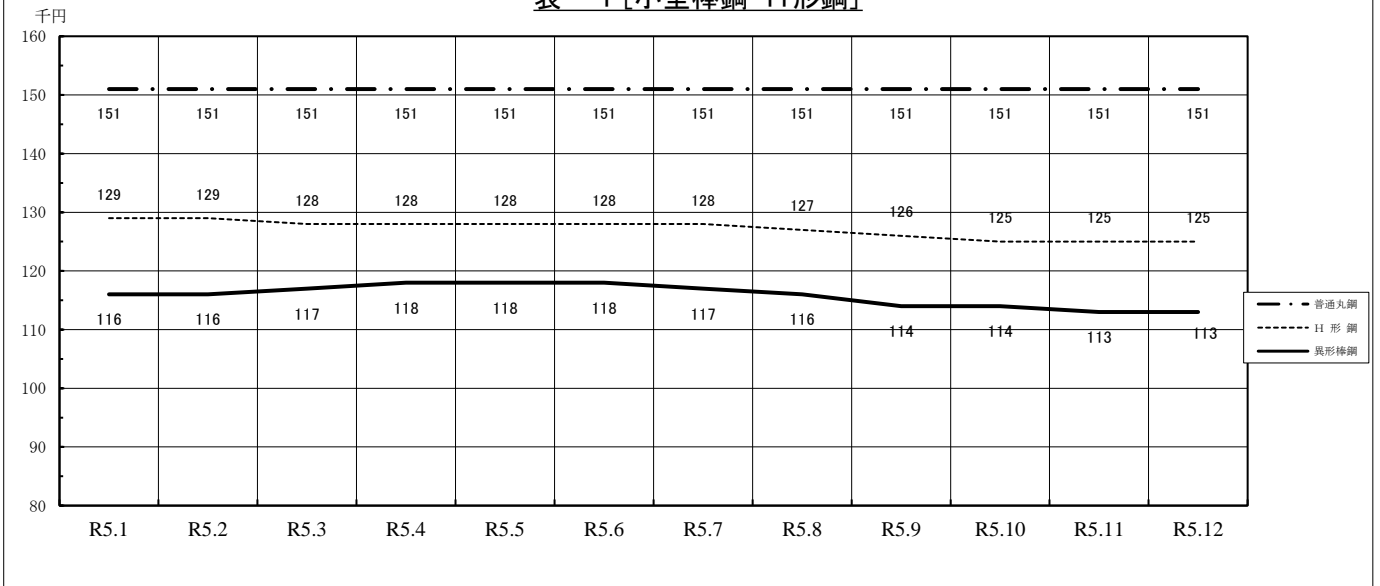
(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年12月)

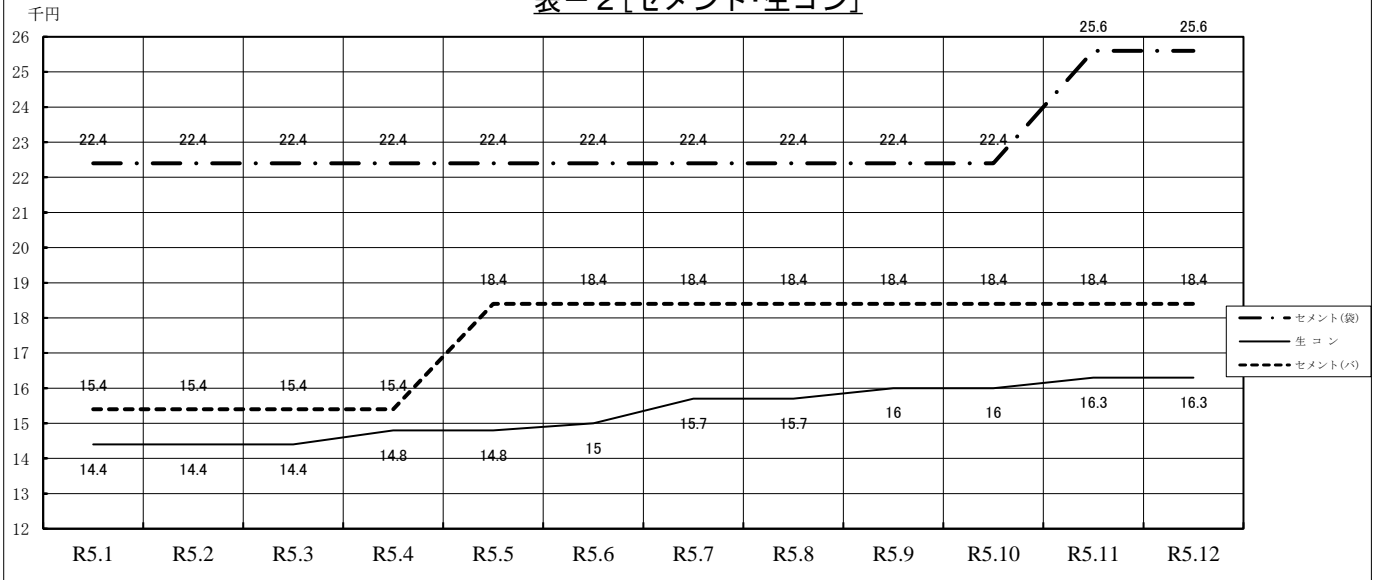
区分	品名・規格	単位	青森		弘前		八戸		県平均		備考
			価格(円)	前月比(%)	価格(円)	前月比(%)	価格(円)	前月比(%)	価格(円)	前月比(%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	640	0.0	640	0.0	640	0.0	640	0.0	25,600円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	44,700	10.1	44,700	10.1	44,700	10.1	44,700	10.1	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	15,800	0.0	15,600	0.0	17,500	0.0	16,300	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	122,000	-3.2	122,000	-3.2	122,000	-3.2	122,000	-3.2	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油類	軽油(ミニローリー渡し)	L	124.0	0.0	124.0	0.0	124.0	0.0	124.0	0.0	124,000円/kl
油類	重油(ローリー渡し)	L	85.0	0.0	85.0	0.0	85.0	0.0	85.0	0.0	85,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表一 [小型棒鋼・H形鋼]



表二 [セメント・生コン]



表三 [骨材]

